

PENTAX®

ESPIO160

QUARTZ DATE

使用説明書



カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

このたびは、ペンタックスESPIO160（エスピオ160）
 デートをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 「エスピオ160」は撮影距離や焦点距離によって自動的に変化するファインダーを備えた、38ミリ広角から160ミリ望遠までのズームコンパクトカメラです。
 その他にも、6分割測光によるきめ細かな露出の制御やフィルム途中でのパノラマ／標準撮影の切り替え、離れたところから撮影できるリモコンなど、いろいろな機能を搭載しています。

- 説明文中の  内の注意事項には、特に気を付けてお読みください。
- 本文中の写真・イラストは、実際の製品と異なる場合があります。
- 62、63ページに切り取って使える「クイックガイド」がありますので、ご利用ください。

記号について

操作の方向	
自動的に動きます	
注目してください	
点灯します	
点滅します	
正しい	
間違い	

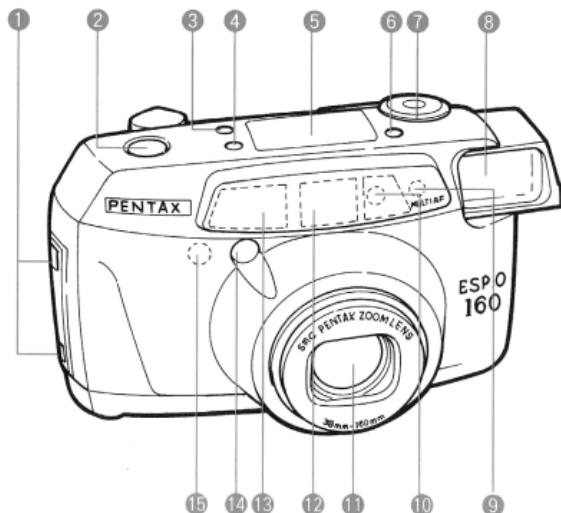
「林檎の秘密」

すぐに役立つ写真の基礎知識

露出の仕組みや光の測り方、ピントの合わせ方など写真の基礎を豊富なイラストと作例でわかりやすく解説しています。お買い求めは、ペンタックスサービス窓口・ペンタックスファミリーまたは、最寄りのカメラ店で。

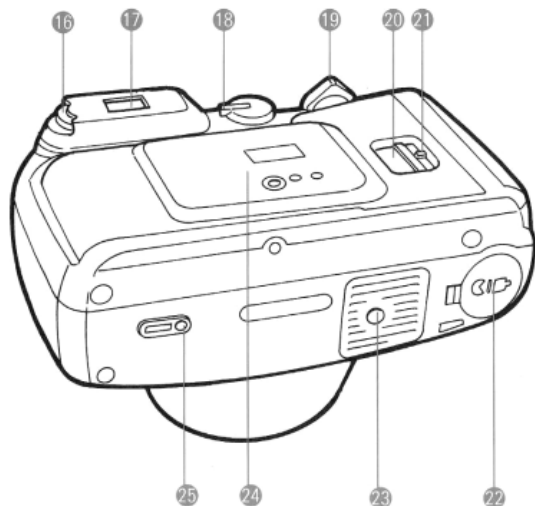


各部の名称



- ①ストラップ通し[9 ページ]
- ②シャッターボタン[12 ページ]
- ③セルフ/リモコンボタン
[31 ページ]
- ④AFボタン[31ページ]
- ⑤表示パネル[56 ページ]
- ⑥赤目軽減ボタン[30 ページ]
- ⑦露出選択ダイヤル[30 ページ]
- ⑧ストロボ発光部
- ⑨セルフタイマーランプ
[36 ページ]
- ⑩受光窓
- ⑪レンズ
- ⑫ファインダー窓
- ⑬測距窓
- ⑭補助光発光部[25ページ]
- ⑮リモコン受光窓[39ページ]

各部の名称 (背面)



- ⑯視度調節ダイヤル[17ページ]
- ⑰ファインダー接眼窓
- ⑱パノラマ切り替えレバー
[45 ページ]
- ⑲ズームレバー[13 ページ]
- ⑳フィルム情報窓
- ㉑裏ぶた開放レバー[14 ページ]
- ㉒電池ぶた[52 ページ]
- ㉓三脚ネジ穴
- ㉔裏ぶた[14 ページ]
- ㉕途中巻き戻しボタン[29 ページ]

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、2 ページにある下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 警告

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 注意

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性のあることを示すマークです。

 は、禁止事項を表わすマークです。

 は、注意を促すためのマークです。

 警告

-  カメラを分解しないでください。カメラ内部には高電圧部があり、感電の危険があります。
-  落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
-  ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようご注意ください。

 注意

-  電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解や充電をしないでください。破裂・発火の恐れがあります。
-  万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。この場合、やけどに十分ご注意ください。

取り扱い上の注意

- ・汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- ・高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでご注意ください。
- ・防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に保管してください。
- ・このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- ・強い震動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの震動は、クッションなどを入れて保護してください。

- ・レンズ、ファインダー窓のホコリはブロワーで吹き飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。
- ・業務用または過酷な条件での使用には、お勧めできません。
- ・高性能を保つため、1~2年毎に定期点検をしてください。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には点検や試し撮りをしてください。
- ・カメラの使用温度範囲は-10℃~50℃です。
- ・急激な温度変化を与えると、カメラの内外に水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ・ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、良く拭いて乾かしてください。

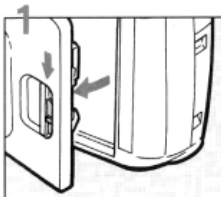
3

目次

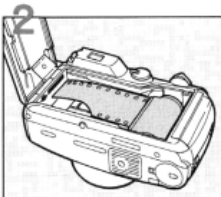
カメラを安全にお使いいただくために	1
取り扱い上の注意	3
使い方は簡単です	5
こんな写真を撮るには?	6
撮影前の準備をしましょう	
1. ソフトケース	8
2. ストラップ	9
3. 電源を入れてみましょう	10
4. カメラの構え方	12
5. ズーミングをしてみましょう	13
フィルムを入れて撮影しましょう	
1. フィルムを入れましょう	14
・フィルム感度について	16
2. 視度調節	17
3. ファインダー内表示	18
4. 表示パネルの照明	22
5. 撮影しましょう	23
6. フィルムを取り出しましょう	28
・途中巻き戻し	29

いろいろな撮影をしましょう	
いろいろな機能の選び方／赤目軽減機能	30
日中シンクロ撮影	32
低速シャッター撮影	33
低速シンクロ撮影	33
バルブ撮影	34
バルブシンクロ撮影	34
セルフタイマー撮影	35
リモコン撮影	37
多重露出	40
遠景撮影	41
スポットAF	42
フォーカスロック撮影	43
パノラマ撮影	45
写真に日付や時刻を写し込みます	48
電池の消耗警告	51
電池の交換	52
こんなときは?	54
表示パネル	56
ストロボ撮影可能距離と赤目現象	58
アフターサービスについて	59
主な仕様	60
クイックガイド	62

使い方は簡単です。[通常の撮影手順]



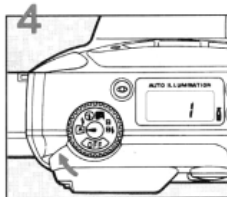
裏ぶたを開けます。
[14 ページ]



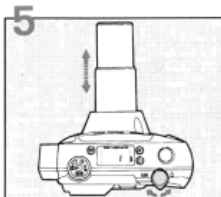
フィルムを入れ、裏ぶたを閉じます。
[15 ページ]



自動的に1コマ目まで巻き上がります。
[16 ページ]



電源を入れます。
[10 ページ]



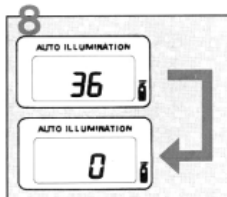
ファインダーをのぞき、ズームレバーを回して構図を決めます。
[13 ページ]



ピントを合わせたいものにファインダーの□□を合わせます。
[23 ページ]



シャッターボタンを押して撮影です。暗い所では自動的にストロボが光ります [25 ページ]



フィルムが終わると自動的に巻き戻しが始まります。[28 ページ]

5

こんな写真を撮るには？



ピント関係

- 窓越しに風景を撮りたい 41
- 特定の場所だけにピントを合わせたい 42、43



ストロボ関係

- 暗い所で写真を撮りたい 26
- ストロボ撮影で目が赤く写らないようにしたい 30、58
- 帽子などで影になっている人物の顔を明るく写したい 32
- 夕景をバックに人物を写したい 33
- 夜景をバックに人物を写したい 34



ズーミング関係

- 写したい物を大きくしたり小さくしたりしたい 13



人物撮影関係

帽子などで影になっている人物の顔を明るく写したい	32
夕景をバックに人物を写したい	33
夜景をバックに人物を写したい	34
自分自身も写真に写りたい	35



風景撮影関係

夕景をバックに人物を写したい	33
夜景を撮りたい	34
夜景をバックに人物を写したい	34
窓越しに風景を撮りたい	41



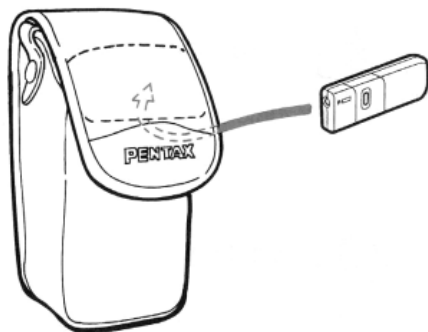
その他

暗くて、表示パネルの表示が見えにくい	22
カメラから離れた所からシャッターを切りたい	37
フィルムの同じ枚数の部分に重ねて撮影をしたい	40
写真に日付を入れない[消したい]	48

1

ソフトケース

撮影前の 準備をしましょう

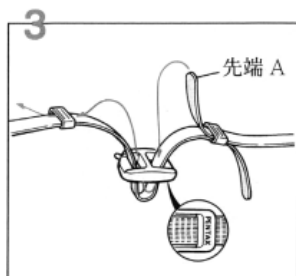
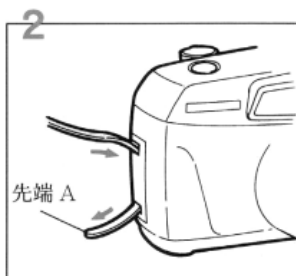
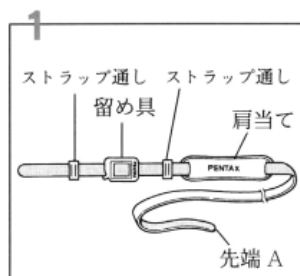


カメラをケースに入れるときは、電源を OFF にしてください。[電源 OFF については、10 ページをご覧ください。]

ソフトケースには、リモコンを収納するためのポケットがあります。

※ リモコンを入れるときは、必ず矢印の向きから入れてください。反対側から入ると、リモコンが落ちる恐れがあります。

2 ストラップ



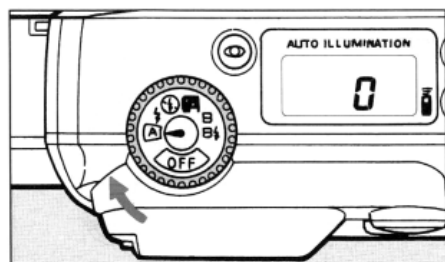
1. ストラップに、ストラップ通し・留め具・肩当てを図のように通します。
2. ストラップの先端Aをカメラのストラップ通しに通します。
3. ストラップの先端Aをもう一方の先端側から図のようにストラップ通し→留め具→ストラップ通しの順に通します。

※ ストラップの図の部分にはクォーツデイトの修正ボタンを押すとき、電池ふたを開けるときのおよび途中巻き戻しのときにご利用ください。



9

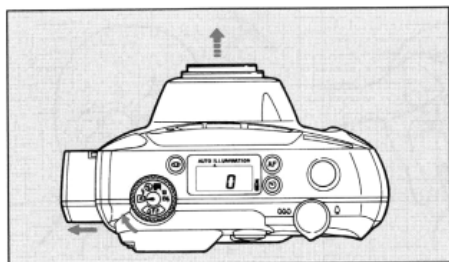
3 電源を入れてみましょう



露出選択ダイヤルを回して **OFF** 位置以外にすると電源が入ります。
OFF 位置に戻すと電源が切れます[電源OFF]。

※ 使用しないときは、必ず **OFF** にしてください。

※ 電源が入ったまま放置した場合は、放置後約3分間たつと、自動的にレンズの焦点距離が38mmになります。ただし、電源は切れません。



電源を入ると、レンズが少し前に出てレンズカバーが開きます。同時にストロボも横に飛び出します。電源をOFFにすると、レンズとストロボは収納されます。

※ ストロボは一時的に手で押し込むことができます。ただし、この場合シャッターは切れません。

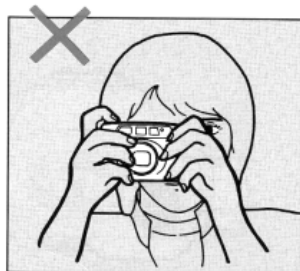
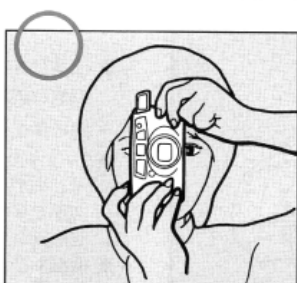
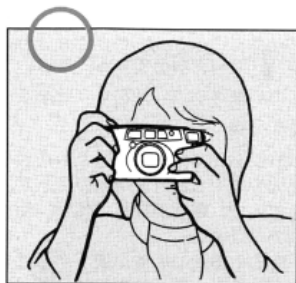
※ 表示パネルに  マークが出ているときは、電池が消耗していますので、52 ページをご覧ください。電池を交換してください。

※ 3Vリチウム電池[CR123A相当品] 1本を使用します。電池を抜くと日付や時刻の修正が必要となりますので、電池消耗時以外は、電池を抜かないでください。

※ 低温では、一時的に電池の性能が低下することがありますが、常温に戻れば使用できます。

※ 海外旅行・寒冷地での撮影や写真を撮るときは、予備電池をご用意ください。

4 カメラの構え方

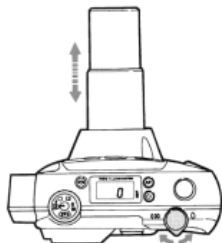
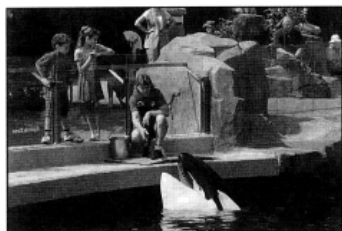


撮影するときは、カメラを両手でしっかり持ち、カメラが動かないようにして、シャッターボタンを静かに押しましょう。[強く押すとカメラが動いて、きれいな写真が撮れません。]

※ 木や建物・テーブルなどを利用して、からだやカメラを安定させるのも良い方法です。

※ カメラを縦位置に構えてストロボ撮影するときは、ストロボが上になるようにしましょう。影が自然な方向に出ます。

- レンズはズーミングにより動きますので、レンズ部分を持つと、落下などの原因になります。
- カメラ前面の測距窓・レンズ・受光窓・ストロボ発光部などを、髪や手でふさぐと、ピンボケ・露出不足・露出オーバーなどの原因になります。
- 電源を入ると、ストロボが横に飛び出します。この部分を触らないようにご注意ください。



ズームレバーを  側に回すと、遠くのものを大きく写せる 160mm側へ、 側に回すと広い範囲を写せる 38mm広角側へ動きます。

※ ファインダーを見ながら、好みの大きさになったところで止めて撮影してください。

※ 焦点距離を 160mm 側にすると手ぶれを起こしやすいので、比較的手ぶれを起こしにくい ISO400 の使用をお勧めします。

● ズームレンズには、無理な力を加えないでください。また、レンズを下向きに置かないでください。レンズに無理な力が加わります。

1

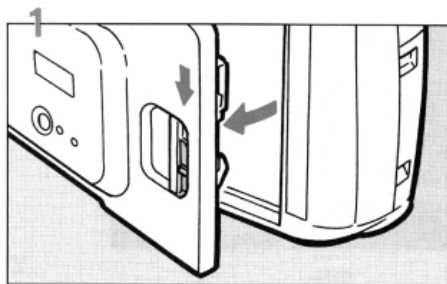
フィルムを入れましょう

フィルムを入れて 撮影しましょう

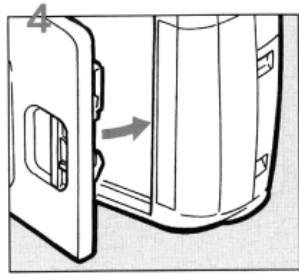
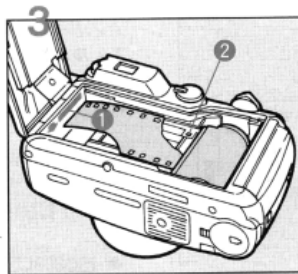
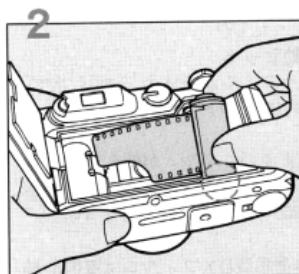
フィルムは一通り説明書を読んでカメラ操作に慣れてから入れましょう。

※ フィルムを入れるときは、電源OFFで行ってください。レンズが自動的に動いて、カメラを落す危険があります。

※ このカメラで撮影した画像は、フィルム上ではコマ番号と上下が逆さに写し込まれます。これはカメラを小型化するため、フィルムをセットする向きが一眼レフカメラとは逆になっているためです。



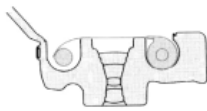
1. 図のように、裏ふた開閉レバーを矢印方向に押し下げて、裏ふたを開けます。



2. フィルムの凸側を上にして、下側から先に入れ、次に上側を入れます。
3. フィルムを少し引き出して①のフィルム先端マークに合わせます。
4. 裏ぶたを閉じると自動的にフィルムが巻き上げられ、1枚目まで進みます。



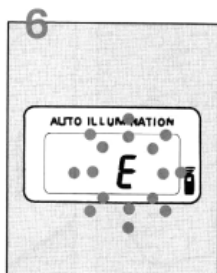
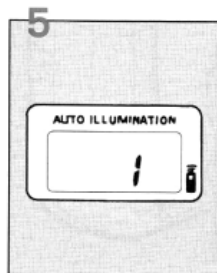
×フィルムのたるみあり



○フィルムのたるみなし

- フィルムがまっすぐ入っていることを必ず確認してください。
- フィルム検知部にゴミなどが付着するとフィルムが正しく巻き上げられません。
- 左図のように、フィルムはたるみがないように入れてください。
- フィルムの先端が長く出すぎているときは、フィルムをパトローネに少し押し戻します。
- フィルム先端が極端に折れ曲がっているものは、まっすぐに直してください。

15



5. 上図のように、フィルム枚数表示の「1」が出て自動的に止まります。必ず枚数表示が「1」になっていることを確認してください。
6. フィルムが正しく入っていないと、表示パネルに「E」が点滅して知らせます。フィルムを正しく入れ直してください。

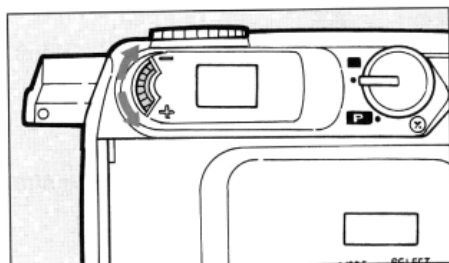
フィルム感度について フィルム感度自動セット

このカメラでは、フィルムを入れるだけでフィルム感度が自動的にセットされます。

- ※ ISO25～3200 までのフィルムが使えます。
- ※ フィルム感度は、手ぶれ防止やストロボ撮影に有利なISO400の使用をお勧めします。

- ISO800以上の高感度DXフィルムは室内や暗い所での撮影にご利用ください。
- ほとんどのフィルムが、フィルム感度を自動的にセットできるDXフィルムですが、DX以外のフィルムではフィルム感度が25にセットされてしまいますので使用できません。

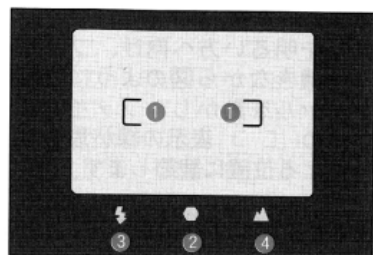
※ フィルム枚数は、電源をOFFにしても表示されます。



1. 電源を入れます。
2. カメラを明るい方へ向け、ファインダーを覗きながら図のように視度調節ダイヤルを動かして、ファインダー内中央の 表示の線が最もはっきり見える位置に調節します。

※ 視度調節は、ご使用前に必ず行なってください。

ファインダー内表示



ファインダーを覗くと、図のような表示が見えます。

※ 表示が見えにくいときは、視度調節を先に行なってください。[17ページをご覧ください]

※ ②③④のランプは、シャッターボタンを少し押さないと表示されません。

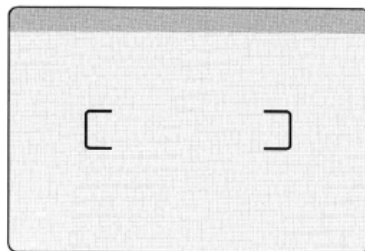
- ①の 表示
ピントの合う範囲です。この範囲にピントを合わせたいものを入れてください。
- ②の ランプ
ピントが合うと光ります。点滅は、距離が近すぎるか、ピント合わせができない場合です。
- ③の ランプ
ストロボが発光するときに光ります。点滅中はストロボの充電中です。
- ④の ランプ
遠景撮影にしたときに光ります。

- ※ このカメラでは、撮影距離や焦点距離に応じて、ファインダー内の表示が自動的に変化します。
詳しくは、20ページおよび21ページをご覧ください。
- ※ ビント合わせの苦手な物 [27ページをご覧ください] で②の緑ランプ  の点滅中は、①の  表示も点滅します。
- ※ サービスサイズのカラープリント [パノラマプリントを含む] では、画面周辺のものが入りきれず、構図に少し余裕を持たせてください。

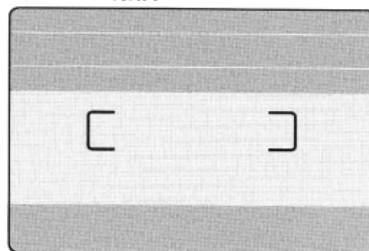
近距離視野補正枠

このカメラでは、撮影距離が近くなると、シャッターボタンを少し押したとき、ファインダー内の視野枠が下図のように自動的に変化し補正されます。この範囲に写したいものを入れてください。

<標準撮影>



<パノラマ撮影>

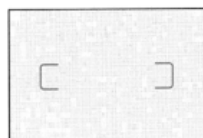
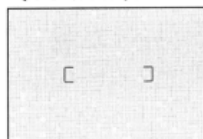


ピントの合う範囲

このカメラでは、焦点距離によって下図のように自動的にピントの合う範囲が各々3段階に変化しますので、この範囲にピントを合わせたいものを入れてください。

焦点距離が望遠側〔160mm 側〕になる程幅は広がります。

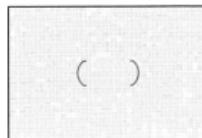
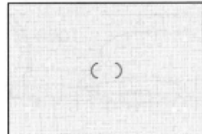
<マルチAF>



38mm側

160mm側

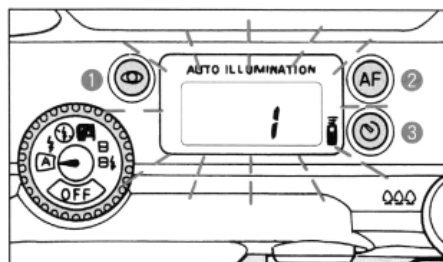
<スポットAF>



21



表示パネルの照明

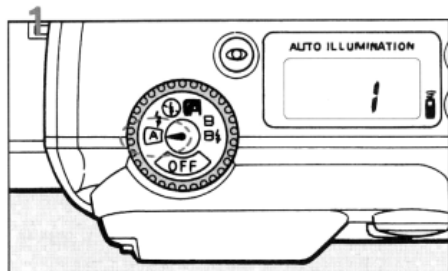


暗い所で①②③のいずれかのボタンを押すか露出選択ダイヤルを回すと、自動的に表示パネルの照明が点灯します。

また、①②③のボタンのいずれかを2秒間押し続けられ、いつでも表示パネルの照明を点灯させることもできます。

※ 露出選択ダイヤルを **OFF** 位置から **A** 位置に動かした場合、照明は点灯しません。

このカメラには、暗い所でも表示パネルの表示が見えるように、照明機能があります。

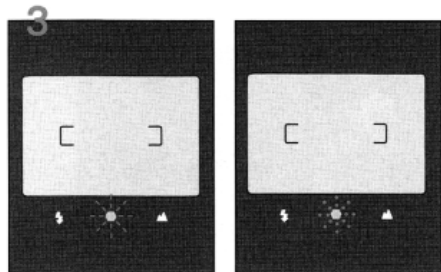


1. 露出選択ダイヤルを **[A]** 位置に合わせます。(電源が入ります)



2. ファインダー内の **[]** をピントを合わせたい物に合わせます。

23



3. シャッターボタンを少し押すと自動的にピントが合い、緑ランプ **[●]** が点灯します。

※ このカメラは、5点AFですから、写す物が画面中心から多少外れていても比較的ピントが合い易くなっています。

※ 特定の場所にピントを合わせたいときは、スポットAFをご利用ください。スポットAFについては、42ページをご覧ください。

※ 撮影は焦点距離が160mmでは1.2mより遠く、焦点距離が38mmでは0.8mより遠くで可能です。

※ 一度緑ランプ **[●]** が点灯してから別のものにピントを合わせ直すときは、シャッターボタンを押し直してください。

- 測距窓が汚れていると、正しいピント合わせができなくなりますのでご注意ください。
- 緑ランプ **[●]** の点滅は、撮影距離が近すぎるかピント合わせの苦手な物のためピント合わせができないことを知らせます。撮影するときは、必ず緑ランプ **[●]** の点灯を確認してください。ピント合わせの苦手な物については、27ページをご覧ください。
- 緑ランプ **[●]** の点滅中でもシャッターボタンを押せば撮影はできますが、ピントは合いませんのでご注意ください。

4



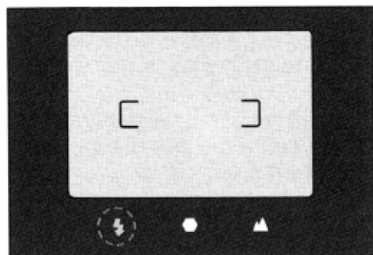
4. 緑ランプ  の点灯後、そのままシャッターボタンを押して撮影します。

※ シャッターを切ると同時にセルフタイマーランプが一瞬点灯して撮影を知らせます。
 ※ サービスサイズのカラープリント[パノラマプリントを含む]では、画面周辺の物がプリントされないことがあります。構図に少し余裕を持たせてください。

補助光について

暗いところやコントラストの少ない物ではピント合わせの精度が低下しますが、こんなときにシャッターボタンを少し押すと、赤色光（補助光）を自動的に投光してピント合わせを自動し易くします。

25



ストロボ自動発光

写したいものが暗いときや逆光のときに、ストロボが自動的に発光します。
 赤ランプ  の点灯は、ストロボが発光することを知らせます。

- ※ 赤ランプ  が点滅した場合は、ストロボ充電中でシャッターが切れません。点灯を確認してから撮影してください。
 ※ このカメラには、ストロボ2度発光による赤目軽減機能が付いています。詳しくは30ページおよび58ページをご覧ください。
 ※ ストロボを連続して使うと、電池が多少温かくなることがありますが、異常ではありません。
 ※ このカメラでは、電源を入れるとストロボが横に飛び出します。

ストロボ撮影できる距離 [ネガカラーフィルム使用時]

レンズ \ ISO	100	200	400
38 mm ()	0.8~4.5m	0.8~6.5m	0.8~9.0m
160 mm ()	1.2~2.5m	1.2~3.5m	1.2~5.0m

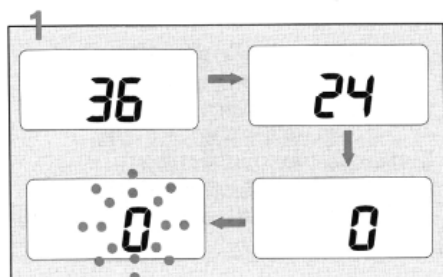
これ以外のフィルム感度については、58ページをご覧ください。

ピント合わせの苦手な物

オートフォーカスは、万能ではありません。写したい物の条件が右の例のような場合、ピントの合わない場合があります。そんなときは、写したい物とほぼ等しい距離にあるものにフォーカスロックをしてください。フォーカスロックについては、43 ページをご覧ください。

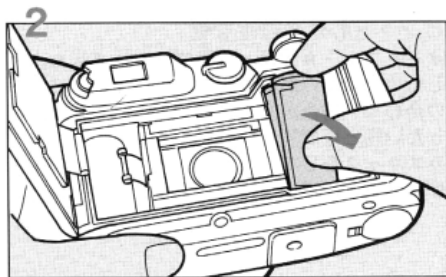
- a) 白い壁や青空などの極端にコントラスト（明暗差）の低い物の場合。
- b) 光を反射しにくい物の場合。
- c) 非常に速い速度で移動している物。
- d) 横線のみや細かな模様の場合。
- e) 遠近のものが同時に存在する場合。
- f) 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）。

6 フィルムを取り出しましょう [フィルムは直射日光が当たらない所で取り出しましょう。]



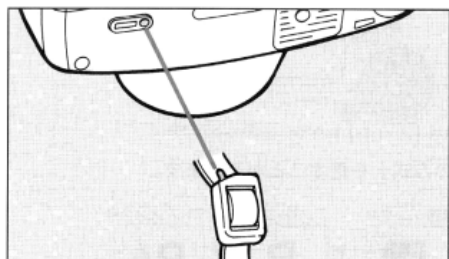
1. フィルムの最後まで撮り終わると、レンズの焦点距離が自動的に38mmになり、巻き戻しが始まります。巻き戻しが終わるとモーターは止まり、図のように「0」が点滅して知らせます。

※ 巻き戻し時間は24枚撮りで約25秒です。
 ※ 巻き戻し中は、撮影枚数が逆算表示されます。
 ※ 巻き戻し完了時、光もれを防ぐためフィルムは、すべて巻き込まれます。



2. 裏ふたを開けて、図のようにフィルムを取り出します。

- フィルムの規定枚数を越えた最後のコマは、現像処理でカットされることがあります。
- 巻き戻し中は裏ふたを開けないでください。
- 規定枚数になっても、まだ撮影が続けられるときは、フィルムの最後まで進んでから巻き戻しが行なわれます。



フィルムの途中巻き戻し
フィルムを途中で取り出したいときは、フィルム途中巻き戻しボタンをストラップ留め具の突起で押すと、巻き戻しが始まります。

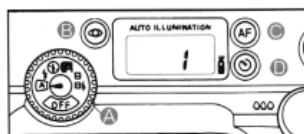
- ※ 巻き戻しボタンを押すと、レンズの焦点距離が自動的に38mmになり、巻き戻しが始まります。
- ※ 巻き戻しが終わると、モーターは止まり  が点滅して知らせます。
- ※ 途中巻き戻しは、電源がON、OFFどちらでも可能です。

- ストラップ留め具以外で巻き戻しボタンを押さないでください。巻き戻しボタンを傷付けることがあります。

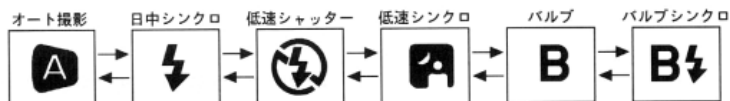
29

いろいろな機能の選び方／赤目軽減機能

いろいろな撮影をしましょう



①の露出選択ダイヤルを回すと、いろいろな「露出の方式」を選ぶことができます。



※ 通常の撮影では  (オート撮影) に合わせてください。

※ ③の赤目軽減ボタン  を押して表示パネルに  を表示させておくと、ストロボが2度発光し、目が赤く写るのを目立たなくすることができます。もう一度押すと解除されます。赤目現象については、58 ページもご覧ください。

※ オート撮影を除き、表示パネルには、ストロボの発光する場合  が、ストロボが発光しない場合  が表示されます。

㊦の **AF** ボタンを押すと、マルチAF・遠景撮影とスポットAFを選ぶことができます。



※ 通常の撮影では、「マルチAF」に合わせてください。電源を一旦OFFにすると「マルチAF」に戻ります。

㊧の **セルフ/リモコン** ボタンを押すと、1コマ撮影・セルフタイマー・リモコンと多重露出を選ぶことができます。

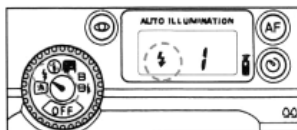


※ 「1コマ撮影」以外で、シャッターを一度切った後に㊧のボタンを押すと「1コマ撮影」に戻ります。

※ 通常の撮影では、「1コマ撮影」に合わせてください。電源を一旦OFFにすると「1コマ撮影」に戻ります。

31

日中シンクロ撮影



昼間の明るいときでも、帽子などで人物の顔が暗くなってしまうときに、このモードを使うと常にストロボが発光しますので、影の取れたきれいな写真が撮れます。また、常時ストロボ撮影を行ないたいときにもご利用ください。

露出選択ダイヤルを回して **⚡** 位置に合わせ撮影します。表示パネルには、**⚡** が表示されます。

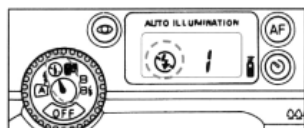
- 日中シンクロの場合にも、「ストロボ撮影できる距離の範囲内」で撮影してください。26ページをご覧ください。



ストロボなし



ストロボ使用 日中シンクロ



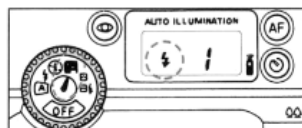
低速シャッター撮影

暗くてもストロボが使えない場所[劇場、美術館など]での撮影にご利用ください。ストロボを発光させませんので、室内の照明を利用して雰囲気のあるソフトな写真を楽しめます。

露出選択ダイヤルを回して **④** 位置に合わせ撮影します。表示パネルには、**④** が表示されます。



低速シンクロ撮影



低速シンクロ撮影

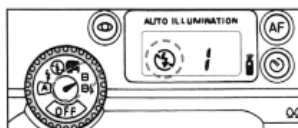
夕景などを背景に人物撮影をするときに使います。

露出選択ダイヤルを回して **Ⓐ** 位置に合わせ撮影します。表示パネルには、**Ⓐ** が表示されます。

※ 低速シンクロでは、人物にストロボ光を当て、背景は遅いシャッター速度で、どちらもバランス良く撮影できます。

- 低速シャッター撮影、低速シンクロ撮影では、カメラぶれを防ぐために三脚などをご使用ください。
- 低速シンクロの場合にも、「ストロボ撮影できる距離の範囲内」で撮影してください。26 ページをご覧ください。

バルブ撮影・バルブシンクロ撮影



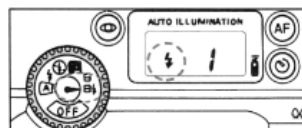
バルブ撮影

花火や夜景の撮影など、シャッターを長時間開き続けて撮影をする場合にご利用ください。

露出選択ダイヤルを回して **B** 位置に合わせ撮影します。表示パネルには、**④** が表示されます。

※ バルブ撮影では、シャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。手ぶれを防ぐため、カメラを三脚などに固定してください。また、写される人が動いてしまっても、写真はぶれてしまいますのでご注意ください。

- カメラぶれを防ぐために三脚などをご使用ください。



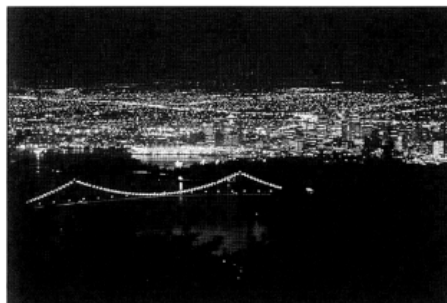
バルブシンクロ撮影

夜景などを背景にした人物撮影に使います。

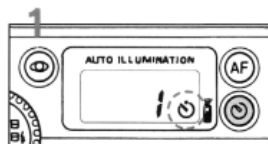
露出選択ダイヤルを回して **B** 位置に合わせます。表示パネルには、**Ⓐ** が表示されます。

※ バルブシンクロでは、バルブ撮影でストロボを発光させます。人物にはストロボ光を当て、背景は長時間のシャッター速度で、どちらもバランス良く撮影できます。

- バルブシンクロの場合にも、「ストロボ撮影できる距離の範囲内」で撮影してください。26 ページをご覧ください。



バルブ撮影
ISO400 で約 3 秒の撮影



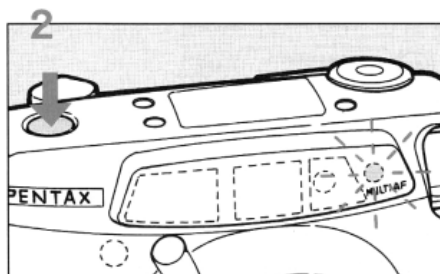
撮影者も入って記念撮影をするときなどにご利用ください。

1. セルフ/リモコンボタンを押して、表示パネルに  表示を出します。

※ 撮影時は三脚などを使用してください。

※ セルフタイマーの解除およびセルフ/リモコンボタンによる他の機能については、31 ページをご覧ください。

35



2. 写したいものにピントを合わせてから、さらにシャッターボタンを押すと、セルフタイマーがスタートします。

※ セルフタイマーの作動中は、表示パネルの  の点滅とセルフタイマーランプの点灯で知らせます。シャッターが切れる約3秒前から、ランプは点滅に変わります。

※ 約 10 秒後にシャッターが切れます。

※ セルフタイマーをスタートさせた後に中止したいときは、セルフ/リモコンボタンを押すか露出選択ダイヤルを回してください。

- カメラ前面に立ってセルフタイマーをスタートさせると、写したいものにピントが合わなくなることがありますのでご注意ください。
- ストロボ充電中 [赤ランプ  点滅] のときは、ストロボの充電完了 [赤ランプ  点灯] を確認してから、セルフタイマーを起動させてください。

リモコン撮影

リモコンを使うと、カメラから離れた所から好みのタイミングで撮影することができます。リモコンのシャッターボタンを押すと3秒後にシャッターが切れます。

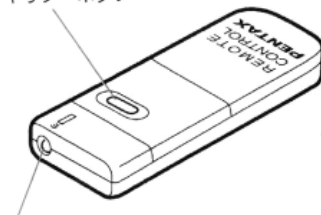
※ リモコン撮影するときは、三脚などをご利用ください。

※ リモコン撮影時は、「セルフタイマー撮影」および「多重露出撮影」は使用できません。

※ リモコンでのバルブ撮影は、リモコンのシャッターボタンを押してから約3秒後にシャッターがきれ始め、シャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。[最長約5分]

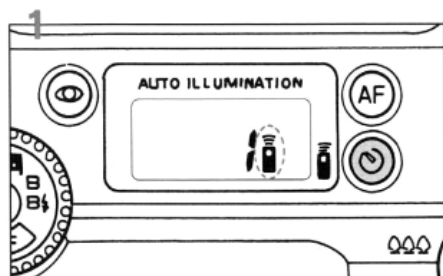
リモコン各部名称

シャッターボタン

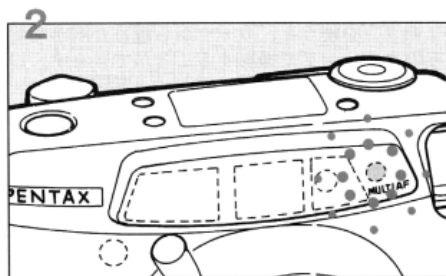


リモコン投光部

37



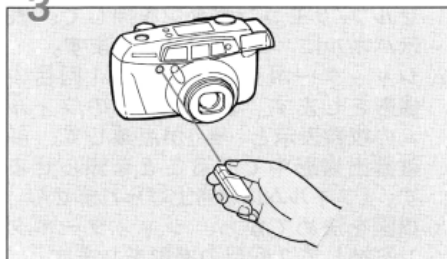
1. セルフ/リモコンボタンを押して、表示パネルに  を出します。



2. カメラ前面のセルフタイマーランプがゆっくり点滅します。

※ このときカメラのシャッターボタンを押すと、リモコン撮影ではなく通常の1コマ撮影になります。

※ リモコン撮影モードのまま約5分間放置すると、自動的にレンズの焦点距離が38mmになり、「1コマ撮影」に戻ります。



3. ファインダー内の  を写したいものに合わせ、リモコンをカメラ正面に向け、リモコンのシャッターボタンを押します。

※ セルフタイマーランプが3秒間早い点滅をした後シャッターが切れます。

※ リモコン撮影時には、フォーカスロックはできませんので、リモコンのシャッターボタンを押したときにファインダー内の  が合っているものに、ピントが合います。

※ リモコン撮影の解除およびセルフ/リモコンボタンによる他の機能については、31ページをご覧ください。

リモコン撮影のできる距離
カメラ前面受光窓の真正面から約5m 以内

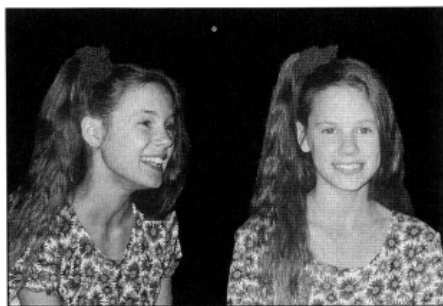
※ 逆光時はリモコン撮影ができないことがあります。その場合は、セルフタイマー撮影をご利用ください。

※ ストロボ充電中はリモコン操作はできません。

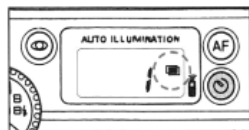
※ リモコンを使用しないときは、ソフトケースのポケットに入れておくとう便利です。ソフトケースについては、8ページをご覧ください。

リモコン用電池の寿命
約30,000回送信することができます。電池の交換は最寄りのペンタックスサービスセンターにご用命ください。[有料]

多重露出撮影 [フィルムをプリントするとき、多重露出されていることを店頭で申し出ないとプリントされない場合があります。]



同一のフィルム画面上に重ねて撮影することができます。
アイデア次第で面白い写真が作れます。

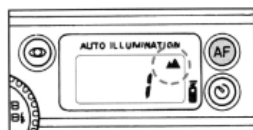


1. セルフ/リモコンボタンを押して、表示パネルに  表示を出します。
2. シャッターボタンを押して1回目の撮影をします。表示パネルのフィルムの枚数表示と  が点滅して、多重露出撮影中であることを知らせます。[フィルムは巻き上げられません。]
3. 構図を決めてから、シャッターボタンを押して2回目の撮影をします。

※ フィルムが巻き上げられ「1コマ撮影」に戻ります。

※ 多重露出を2回以上行なうときは、「2.」の操作の後に、セルフ/リモコンボタンを押して表示パネルの  表示の点滅を点灯してから再び撮影してください。

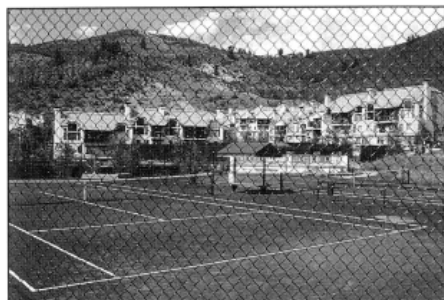
※ 日付や時刻の写し込みは、最後の「3.」の操作で行なわれます。



金網やガラス越しの風景などを撮影するときにご利用ください。誤って金網やガラスにピントが合ってしまうのを防げます。

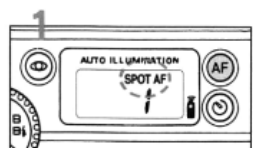
AFボタンを押して、表示パネルに 表示を出し撮影します。

- ※ シャッターボタンを少し押すとファインダー内にも が表示されます。
- ※ 遠景撮影では、ファインダー内の と緑ランプ は点灯しません。
- ※ 一度撮影をすると遠景撮影は解除されます。
- ※ 露出選択ダイヤルが 位置では、暗くてもストロボは発光しません。



41

スポットAF



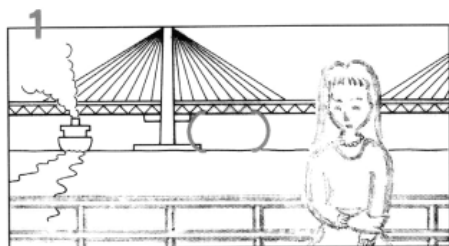
ファインダー内の中央付近の狭い範囲だけでピント合わせを行ないますので、特定の部分にピントを合わせたいときなどにご利用ください。

1. AFボタンを押して、表示パネルに の表示を出します。
2. 画面中央の を写したいものに合わせ撮影します。



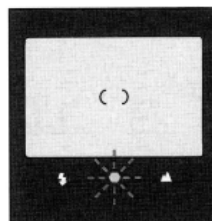
※ このカメラでは、焦点距離によってファインダー内の の大きさが自動的に変化します。21 ページをご覧ください。

- ピントを合わせたいものが画面中央にない場合は、フォーカスロック撮影を行なってください。フォーカスロックについては 43 ページをご覧ください。



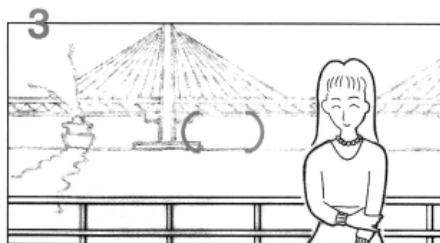
フォーカスロックの方法

1. ファインダー内の () が人物から外れたままで撮影すると、図のように後ろにピントが合ってしまいます。



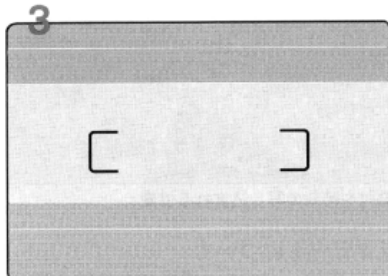
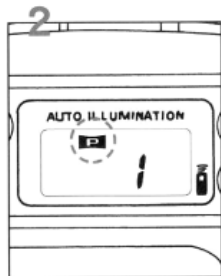
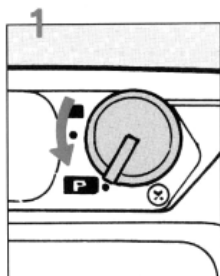
2. ピントを合わせたいものに () を合わせ、シャッターボタンを少し押して、緑ランプ  を点灯したままにしておくと、ピントが固定されます。

※ このとき、露出も同時に固定されます。



3. シャッターボタンを少し押したまま元の写したい構図にして、シャッターを切ります。

※ フォーカスロックは、シャッターボタンから指を離すと解除されます。



このカメラでは、撮影途中でも自由にパノラマと標準撮影とを切り替えることができます。パノラマ撮影ではフィルム上で横長に写りますので、パノラマプリントにするとダイナミックな写真が楽しめます。

1. パノラマ切り替えレバーを **P** に合わせます。
2. 表示パネルに **P** が表示されます。

※ パノラマに切り替えると、ファインダー内がパノラマ用に横長になります。

3. パノラマの視野枠内に写したいものを入れて撮影してください。

※ 近距離でのパノラマ撮影では、標準撮影同様に、ファインダー内の視野枠が自動的に変換し補正されます。この範囲に写したいものを入れて撮影してください。20 ページをご覧ください。



赤線は日付や時刻の写し込まれる位置

パノラマデートについて

このカメラでは、パノラマ撮影でも日付や時刻を写し込むことができます。使い方は標準撮影の場合と同じですので、48ページの「写真に日付や時刻を写し込みます」をご覧ください。

※ パノラマ撮影の場合、通常の同時プリントに比べ日数、料金がかかります。

詳しくは、お店でおたずねください。

※ パノラマ撮影では、図のように標準撮影のフィルム1コマ分の上下をカットするだけです。撮影枚数は、標準撮影のときと同じです。

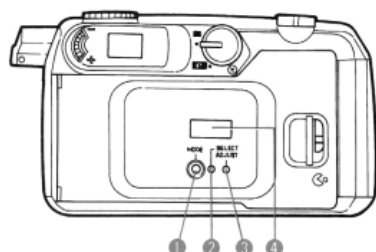


※ パノラマでは、フィルム上に約 13×36mm の大きさに画像を写し込み、プリント段階では約 12mm×35mm の範囲のプリントを行ないます。ただし、この範囲はズーミング位置によって多少違います。

※ パノラマプリントは約 89×254mm のサイズにプリントされます。これは標準撮影されたフィルムを六ツ切りサイズに引き伸ばしたものと同倍率になります。

47

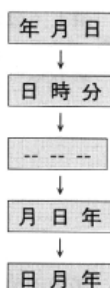
写真に日付や時刻を写し込みます



このカメラは、2049年までのオートカレンダー機能を持っています。日付や時刻の表示は、ほぼ正しくセットしてあります。

写し込みたい内容を選びます

①の **MODE** ボタンを爪で押すと図のように表示が変わりますので、希望の表示を出してください。



※ ①のデート表示窓に表示されている日付や時刻が写真に写し込まれます。

※ 日付や時刻を写し込みたくない場合は、**----** に合わせます。

※ ①のデート表示窓のMは「月」の位置を示しています。

日付や時刻の修正

1. ②の **SELECT** ボタンを押して修正したい数値を点滅させます。
2. ③の **ADJUST** ボタンで点滅させた数値を変更します。

※ 1回押すごとに数値が1つ進み、押し続けると約2〜3秒後からは早送りされます。

3. 修正後は、②の **SELECT** ボタンを押して、点滅を止めます。

- 日付の修正を行なったときは、必ず時刻の修正も行なってください。

※ **SELECT** および **ADJUST** ボタンを押すときは、ストラップ留め具の突起をご使用ください。

※ 修正中[点滅表示中]は、シャッターを切っても日付や時刻は写し込まれません。

※ 「年月日」表示の「年」は、1999年では「99」、2001年では「01」のように下2ケタのみが表示されます。

49

※ 0秒にセットするには、「日時分」表示のときに②の **SELECT** ボタンで[:]表示を点滅させ、③の **ADJUST** ボタンを時報などに合わせて押してください。

※ 「年月日」と「日時分」を同時に写し込むことはできません。

※ シャッターを切るとデート表示窓の  が点滅し、写し込みが行なわれたことを知らせます。

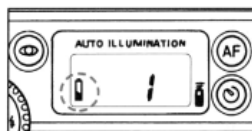
※ パノラマ撮影でも日付や時刻の写し込みができます。

- 日付や時刻が写る部分に白・黄色などの明るい物があると、日付や時刻が見えにくくなります。日付や時刻が写る部分には明るいものがこないようにしましょう。



この写真の数字はハメコミ合成です。

電池の消耗警告



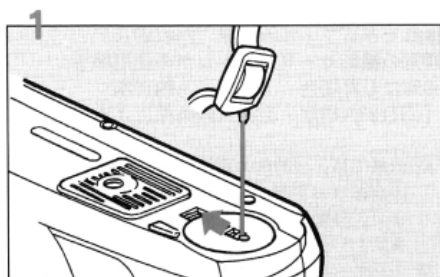
電池が消耗してくると表示パネルに図の  マークが出て警告します。早めに新しい電池と交換してください。  が点滅になると、シャッターが切れなくなります。

撮影できるフィルム本数 [24枚撮り]
通常の撮影モードでストロボの使用率を
50%にした場合 約10本
[CR123A電池・当社試験条件による]

- ※ 低温では、一時的に電池の性能が低下することがありますが、常温に戻れば使用できます。また、撮影できるフィルム本数が少なくなります。
- ※ あらかじめカメラにセットされている電池はサンプル用の電池のため、上記のフィルム本数を撮影できないことがあります。

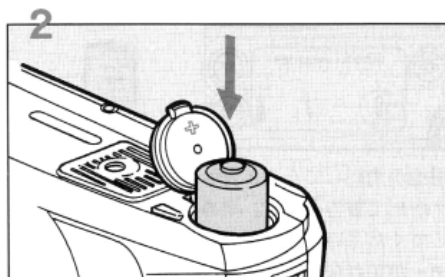
51

電池の交換[電源をOFFにします]



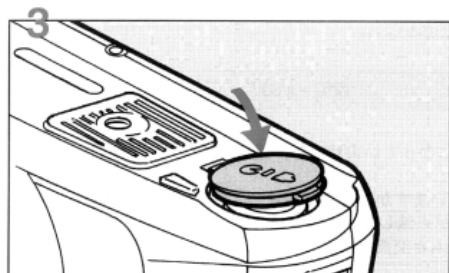
1. ストラップの突起を利用して、電池ふたのロックを矢印方向に引いて電池ふたを開けます。

- ※ 電池交換時には、レンズ部分を持たないようにご注意ください。電池を入れたときにレンズが動いて、カメラを落とす危険があります。
- ※ フィルム枚数は、電池交換をしてもそのまま記憶されています。



2. 電池ふた裏側の+表示に合わせて、リチウム電池を正しく入れます。

- ※ 使用電池は3V リチウムのCR123A相当品 1本を使用します。
- ※ 海外旅行・寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。



3. 電池ふたを矢印方向に押して閉めます。

※ 電池ふたが正しくロックされると、「カチッ」と音がします。

- 電池を交換しても正しく作動しないときは、電池の向きを確認してください。
- 電池ふたを開けたときは、日付および時刻の修正を行なってください。[修正は 49 ページをご覧ください。]

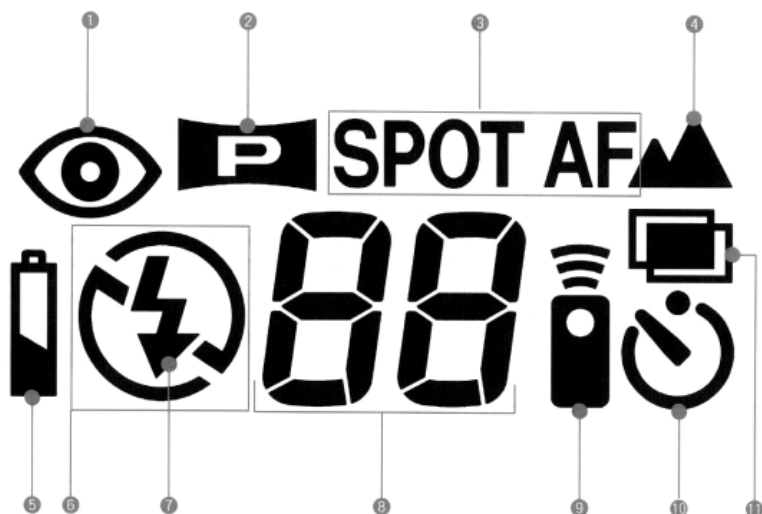
こんなときは？ [詳しくは、各ページをご覧ください。]

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください。

症状	原因・対処
症状 1：シャッターが切れない。	原因・対処 1： ● 電源が OFF になっていませんか。電源を入れてください。[10 ページ] ● 電池は入っていますか。電池が消耗していませんか。[51 ページ] ● 表示窓に  が点滅している場合は、フィルムが終了しています。新しいフィルムと交換してください。[28 ページ]
症状 2：写真の出来が良くない。	原因・対処 2： ● ビントを合わせたいものにファインダー内の  を正しく合わせて撮影してください。[23 ページ] ● 指や髪などで測距窓を覆わないようにして、シャッターボタンは静かに押してください。[12 ページ] ● 測距窓が汚れていませんか。[12 ページ]
症状 3：ズームレンズが勝手に 38mm 側に動いた。	原因・対処 3： ● 電源を入れたまま放置した場合は、放置後約 3 分間たつと、自動的に焦点距離が 38mm になります。[10 ページ] ● リモコン使用時は、放置後約 5 分間たつと、自動的に焦点距離が 38mm になります。[38 ページ]

症状	原因・対処
症状4：リモコンによる操作ができない。	原因・対処4： ● リモコンが作動するのは、カメラの正面で約5mです。この範囲内でリモコンを操作してください。[39ページ] ● 逆光時はリモコンが作動しないことがあります。[39ページ] ● ストロボ充電中。充電が完了するまで待ってください。[39ページ] ● リモコンの電池が消耗している。[39ページ]
症状5：暗くないのにストロボが発光する。	原因・対処5： ● 逆光でも自動的にストロボが発光します。[26ページ] ● 日中シンクロ撮影になっていませんか。[32ページ]
症状6：表示パネルに H や U などの表示がでる。	原因・対処6： ● ズームレバーなどを動かしてみてください。表示が消えればそのままご使用になれますが、度々出る場合には故障の可能性があります。

表示パネル



各部の名称

① 赤目軽減	[30 ページ]
② パノラマ撮影	[45 ページ]
③ スポットAF	[42 ページ]
④ 遠景	[41 ページ]
⑤ 電池消耗警告	[51 ページ]
⑥ ストロボOFF	[33 ページ]
⑦ ストロボON	[32 ページ]
	[33 ページ]
	[34 ページ]
⑧ フィルム枚数	[16 ページ]
⑨ リモコン撮影	[38 ページ]
⑩ セルフタイマー	[35 ページ]
⑪ 多重露出	[40 ページ]

液晶表示[LCD]について

- 約 60℃の高温では液晶表示が黒くなる場合がありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなる場合があります。これは液晶の性質によるもので故障ではありません。

ストロボ撮影可能距離と赤目現象

ISO100、200、400 以外のフィルムを使用したときのストロボ撮影距離範囲[ネガカラーフィルム使用時]

レンズ \ ISO	25	50	800	1600	3200
38mm(◆◆◆)	0.8~2.3m	0.8~3.2m	0.9~13.0m	1.3~18.0m	1.9~26.0m
160mm(◆)	1.2~1.3m	1.2~1.8m	1.2~7.0m	1.2~10.0m	1.2~14.0m

* 高感度のため近距離では露出オーバーになることがあります。

ISO25のフィルムでは、焦点距離を160mm側にすると、撮影範囲が狭くなりますのでお勧めできません。

ストロボ撮影の赤目現象

ストロボ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にストロボの光が反射して発生する現象です。人物の周りを明るくしたり、撮影距離を近くにしてレンズを広角側で撮影すると、発生しにくくなります。

このカメラには、ストロボを2度発光させ、瞳を小さくしてからストロボ撮影を行なうことで、目が赤く写るのを目立たなくする「赤目軽減機能」があります。セット方法は、30 ページをご覧ください。

- ・旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリが展示され、お手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
- 1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている最寄りの当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービスセンター窓口へ直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送りください。不良見本のフィルムやプリント、また故障内容の正確なメモを添付していただくと原因分析に役立ちます。
- 2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店印および購入年月日が記入されているもの]をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はおお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
- 3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - ・使用上の誤り(使用説明書記載以外の誤操作等)により生じた故障。
 - ・当社の指定する修理取扱所以外で行われた修理・改造・分解による故障。
 - ・火災・天災・地震等による故障。
 - ・保管上の不備(高温多湿の場所、防虫剤の入った場所での保管等)や手入れの不備(泥・砂・ホコリ・水かぶり・ショック等)による故障。
 - ・保証書の添付のない場合。
 - ・販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。
- 4. 保証期間以後の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
- 5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能な場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
- 6. 海外旅行をされる場合国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社サービス窓口でお持ちの保証書と交換に発行しております。[保証期間中のみ有効]

59

主な仕様

形式	ズームレンズ内蔵フルオート35mmレンズシャッターカメラ[デート付き]
使用フィルム	35mmDXフィルム専用[135バトロネ入り] ISO25~3200自動感度セット[1EVステップ] DX以外=ISO25固定
画面サイズ	24×36mm[パノラマ撮影時は13×36mm]
フィルム入れ	オートローディング、裏ふた閉じにより1枚目まで自動巻き上げ
巻き上げ	自動巻き上げ式
巻き戻し	フィルム終了時自動巻き戻し式[巻き戻し時間: 24枚撮りフィルムで約25秒]巻き戻し終了時自動停止、途中巻き戻し可能
撮影枚数	自動復元順算式、巻き戻しに連動[減算]
外部表示	表示パネルにLCD液晶表示[低輝度時自動照明および強制照明あり]
レンズ	ペンタックス 38~160mmF4.5~12電動ズームレンズ 7群11枚 画角[対角線] 59°~15.5°
ピント合わせ	パッシブ5点AF方式[スポットAF可能]、フォーカスロック付き、測距範囲=1.2m~∞[160mm側] 0.8m~∞[38mm側]、[最大倍率約1/7.1×]、遠景撮影あり[ピントは無限遠に固定]、補助光あり
ズーミング	電動式
シャッター	プログラムAE電子式シャッター=約1/400~2秒、バルブ[1/2秒~5分]、電磁リリース式
セルフタイマー	電子式赤ランプ表示、作動時間約10秒、作動後の解除可能
ファインダー	液晶表示付き実像式ズームファインダー、視野率83%、倍率0.39×[38mm側] 1.52×[160mm側] 視度調整付き -3~-1m ⁻¹ [毎メートル]、オートフォーカスフレーム[測距不能時点滅、6段階自動切り替え]、視野枠、近距離視野補正枠、パノラマ視野枠、緑ランプ  点灯: 撮影可能・点滅: 測距不能警告、赤ランプ  点灯: ストロボ発光・点滅: ストロボ充電中、緑ランプ  点灯: 遠景撮影

露出	プログラム式自動露出[6分割測光] 露出連動範囲[ISO400] オート、日中シンクロ時=EV10~EV17[38mm側] EV14.5~EV19.5[160mm側] 低速シャッター撮影時=EV5~17[38mm側] EV6~19.5[160mm側] 逆光時自動露出補正可
多重露出	可能
露出計スイッチ	シャッターボタン
ストロボ	ズームオートストロボ内蔵[赤目軽減機能付き]、オート=低輝度、逆光時自動発光、ストロボON=日中シンクロ/低速シンクロ[2秒まで使用可能] バルブシンクロ=1/2秒~5分、ストロボOFF=発光停止
ストロボ撮影範囲	[ISO400 使用時] 38mm 側=0.8~9.0m、160mm 側=1.2~5.0m
ストロボ充電時間	約5秒[当社試験条件による]
リモコン	赤外線リモートコントロール、リモコンシャッターボタン押しで3秒後撮影、作動距離=カメラ前面5m以内
リモコン電源	リチウム電池[CR1620] 1個[サービスセンター交換]
リモコン大きさ・質量[重さ]	22[幅]×50[長]×9.5[厚]mm 9g[電池含む]
電源	3Vリチウム電池[CR123A相当品]1本使用
撮影可能本数	24枚撮りフィルム使用時 約10本[ストロボ50%使用、当社試験条件による]
電池消耗警告	表示パネルに  が点灯、点滅時シャッターロック
デート機構	クォーツ制御・液晶表示式デジタル時計、オートカレンダー[西暦2049年まで、閏年は自動修正]、パノラマ時写し込み可能
データ写し込み方法	フィルム背面からの写し込み
データの種類	①年・月・日 ②日・時・分 ③--- --[データ写し込み無し] ④月・日・年 ⑤日・月・年
大きさ・質量[重さ]	127.5[幅]×73[高さ]×71[厚み]mm 330g[電池別]
付属品	ストラップEI、肩当て、ソフトケースEM、リモートコントロールF

61

PENTAX® ESPiO160 クイックガイド

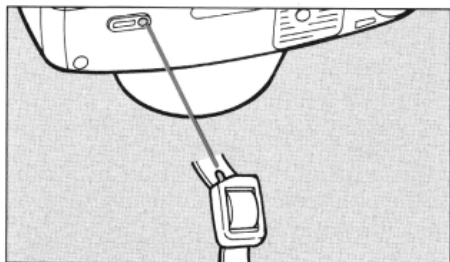
クイックガイド(このページは、切り取ってソフトケースなどに入れてお使いください。)こんな写真を撮りたいと思ったときに、露出選択ダイヤルを下の位置に合わせたり、セルフ/リモコンボタン  を押して表示パネルに下の表示を出すだけで簡単に撮影ができます。

露出選択ダイヤル

- A** オート
最も一般的なモードです。暗い所や逆光では自動的にストロボが発光します。
-  日中シンクロ
明るくても暗くても常にストロボが発光します。帽子をかぶった人物撮影など、逆光以外で人物が暗くなってしまう時に使います。
-  低速シャッター
暗くてもストロボを発光させません。ストロボが使えない美術館や室内の照明を利用した撮影をしたいときに使います。
-  低速シンクロ
夕景をバックにした人物撮影などで、人物にストロボを当てること、夕景と人物をバランスよく撮影できます。
- B** バルブ
花火や夜景の撮影に使います。シャッターボタンを押している間シャッターが開き続けます。
- B**  バルブシンクロ
バルブ撮影でストロボを発光させます。夜景をバックにした人物撮影などに使います。

ボタン

-  セルフタイマー
自分自身も写真に写りたいときに使います。10秒後にシャッターが切れます。
-  リモコン
カメラから離れたところからシャッターを切ることができます。
リモコンのシャッターボタンを押すと3秒後にシャッターが切れます。
-  多重露出
フィルムの同じ枚数のところに重ねて撮影をすることができます。



フィルムの途中巻き戻し

フィルムを途中で取り出したいときは、フィルム途中巻き戻しボタンをストラップ留め具の突起で押すと、レンズの焦点距離が自動的に38mmになり、巻き戻しが始まります。巻き戻しが終わると、モーターは止まり **0** が点滅して知らせます。

日付や時刻の修正

1. **[SELECT]** ボタンを押して修正したい数値を点滅させます。
 2. **[ADJUST]** ボタンで点滅させた数値を変更します。
- ※ 1 回押すごとに数値が1つ進み、押し続けると約2~3秒後からは早送りされます。
3. 修正後は、**[SELECT]** ボタンを押して、点滅を止めます。
- 日付の修正を行なったときは、必ず時刻の修正も行なってください。
 - ※ **[SELECT]** および **[ADJUST]** ボタンを押すときは、ストラップ留め具の突起をご使用ください。
 - ※ 修正中[点滅表示中]は、シャッターを切っても日付や時刻は写し込まれません。
 - ※ 「年月日」表示の「年」は、1999年では「99」、2001年では「01」のように下2ケタのみが表示されます。
 - ※ 0秒にセットするには、「日時分」表示のときに **[SELECT]** ボタンで「:」表示を点滅させ、**[ADJUST]** ボタンを時報などに合わせて押してください。

63

●お問い合わせは次のサービス窓口へ

ペンタックスフォーラム	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1階 (私書箱240号)
東京サービスセンター	〒104-0061	東京都中央区銀座西8-10 (土橋交差点交番並び)
札幌サービスセンター	〒060-0010	北海道札幌市中央区北10条西18-36 ペンタックス札幌ビル4階
仙台サービスセンター	〒981-3133	宮城県仙台市泉区泉中央1-7-1 千代田生命泉中央ビル5階
横浜サービスセンター	〒231-0047	神奈川県横浜市中区羽衣町2-7-10 日本生命園内ビル8階
名古屋サービスセンター	〒461-0001	愛知県名古屋市中区東1-19-8
大阪サービスセンター	〒542-0081	大阪府大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
広島サービスセンター	〒733-0035	広島県広島市西区南観音3-5-2 空港通りビル6階
福岡サービスセンター	〒810-0802	福岡県福岡市博多区中洲中島町3-8 パールビル1階
お客様相談室	〒104-0061	東京都中央区銀座西8-10 (土橋交差点交番並び)

☎03(3348)2941(代)
 ☎03(3571)5621(代)
 ☎011(612)3231(代)
 ☎022(371)6663(代)
 ☎045(232)5281(代)
 ☎052(962)5331(代)
 ☎06(6271)7996(代)
 ☎082(234)5681(代)
 ☎092(281)6868(代)
 ☎03(3572)6479

※日曜・祝日および土曜日は原則として休みます。
 ただし、年末年始を除きペンタックスフォーラムは年中無休です。

ペンタックスファミリーのご案内

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブです。年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理料金の会員割引など様々な特典があります。

お申し込み・お問い合わせは下記ペンタックスファミリー事務局まで。

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
 三宅ビル3階 ☎03(3580)0336



旭光学工業株式会社

〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9

ペンタックス販売株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。
 ☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

16-0011